社会医療法人清恵会　清恵会医療専門学院　清恵会第二医療専門学院

令和３年度　自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

評価対象期間　　自：令和３年４月　１日
至：令和４年３月３１日

清恵会医療専門学院	第１看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	第２看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	准看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
清恵会第二医療専門学院	理学療法士科	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	放射線技師科１部	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務副科長
	放射線技師科２部	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務副科長
清恵会医療専門学院	全３学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	学院長、事務長
清恵会第二医療専門学院	全３学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	学院長、事務長

清恵会医療専門学院　第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を学生ガイダンス、ホームページ、学生募集要項に記載し、入学時だけではなく、実習ガイダンス等学生に周知するよう努めている。	教育理念・目的・目標は、募集要項やHPに掲載している。入学時に学則や新入生ガイダンス、教育カリキュラム要項等を配布し、時間をかけて説明している。教育活動全般に核となる内容を押さえながら実践していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を育成し100%の就職率を維持しているが、社会の変化に対応した専門職としての資質は十分とはいえない。コロナ禍において実習内容の制限により技術は未熟であるが教育用の電子カルテを導入し臨床判断能力向上への取組みを行っている。	専門の知識・技術・態度を身につけ、社会に対応できる看護専門職の育成に努めており、就職率は100%である。看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標をもとに母体病院との連携を図り、継続した人材育成を行う。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念に掲げてある「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」を基盤に、専門職としての技術・知識・態度を修得できるよう、講義・実習の充実に取り組んでいる。	アクティブラーニングを活用した授業、演習を取り入れ、母体病院の医師や看護師を講師に招き専門性の高い教育活動を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムを見据えた教育内容の構成に取り組んでいるが、今後の大学化や4年制への将来構想は明確化されていない。カリキュラム改正後の看護教育の充実に向けた準備を行っている。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、あらゆる場所で活躍できる看護専門職の育成、さらに臨床判断能力、コミュニケーション力、多職種連携、保健指導力を身につけ、人々のニーズに応えられる看護師の育成を目指している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められている。月1回の運営会議を開催し、状況報告や理事会の報告、また決定した方針等は他学科と共有している。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議により、学校運営方針を確認し、看護学科、理学療法士科、診療放射線技師科と協働し、達成に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められており、各学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へ繋げている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、副学院長、事務長、各学科教務部長、教務科長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院運営会議を月1回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議に審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長、副学院長、教務部長、、教務科長、主任、専任教員で構成し、各学年は担任、副担任または担任補佐で構成されている。教育理念・教育目標を達成できるように、また各領域ごと指導体制が整うように教員を配置している。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長と主任を含む教員8名を配置し、専門領域を明確にしている。クラス運営や委員会活動等、必要な体制を整備している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針を編成している。学生には入学時、各年次において説明し周知を行っている。	教育理念などに沿って教育課程を編成している。具体的な内容については教務科長および担任教員から学生に説明し周知を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則細則により、科目履修規定、評価点の基準を設定し、教員・学生の共有化を行っている。評価基準においては、ルーブリック評価を導入し、明確化を図っている。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を掲げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、学生の状況にあわせた教育内容に取り組んでいる。月1回の学科会議を開催し、内容の検討を行っている。また、教科外活動は学生の態度面や感性の育成を重視した内容としている。新カリキュラム内容は実施に向けて準備を進めている。	新カリキュラムを機に改めて教育目的・目標に沿った教育課程について検討・編成した。専任教員間で共通認識をもち、一貫性のある継続教育が実践できるように準備を進める。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに内部・外部講師の共有を図っている。実習では設置母体および他施設との合同調整会議を実施し、意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度状況など情報を共有し、意見を取り入れている。今後も、卒業生の意見を募り、学生が興味や関心が持て主体的に学べる教育課程編成を継続する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。また、コロナ禍において、換気や密を避ける工夫を行いながら他学年との交流を行い、学習の意識づけや専門職としての自覚を育成している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会人基礎力の修得に向けた教育や専門職業人に必要な自己啓発への動機付けを行っている。母体病院で活躍する認定看護師や看護管理者を講師として招き将来をイメージできる機会を増やす。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に定められた専任教員数は確保できているが、大阪府看護教員養成講習会の未受講教員がいる。	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会の未受講教員が1名いる。未受講教員は当学院で教育経験を積みながら、今後受講していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1回/年以上の研修参加を推奨しているが、コロナ禍により自粛傾向であった。そのため、学内の教務会を活用し、資質向上への取り組みを行っている。教員指導・教育では、学生の状況に合わせた教授方法や経験年数に合わせた段階的な指導を行い、教育力の向上に努めている。	コロナ禍により対面型の外部研修は自粛となり、オンラインでの研修や学会に限定された。状況に合わせて施設内での勉強会や伝達講習会などを開催し、教員の質向上を図る。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を行い、結果は各教員にフィードバックし次に活かすようにしている。実習においては、中間評価により後半への課題の明確化を行い目標が達成できるように関り、最終評価に繋げている。	学生の授業評価は実施しており、各教員で授業の振り返りを行い、次の授業に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則・成績査定内規により、「単位認定」「学習評価」「追・再試験」「臨地実習評価」等の科目履修許可及び卒業に関する必要事項を定めている。また、留保された科目についても「認定試験」として規定を定めて運用している。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、審議している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	例年は、協同学習・ボランティア発表を行っているが、コロナ禍により学内での協同学習の発表にとどめている。各学年とも実習終了後の報告会では発表方法を工夫し教員も参加し、学びの共有・成果の把握をしている。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、コロナ禍においても学習共有の場が狭まることがないよう、感染対策を講じながら学年で企画・実施を工夫した上で学科の教員も参加し、成果を把握している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の取得が目標であることは、入学時ガイダンスから始まり各実習ガイダンスで意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	看護師国家試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的位置づけになっている。国家試験対策教員が年間計画を立て、明確化し、支援している。また、学科内で傾向と対策を立て、学生の状況に合わせた支援を行っている。	国家試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は、卒業時に100%であった。設置主体法人への就職率は昨年度と同様で70%を超えている。	就職率は100%を維持しているが、母体病院への就職率を上げるための取組みを協働で取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	定期的な模擬試験や補講を行い、1年次より国家試験合格に向けて取り組んでいる。2021年度の看護師国家試験合格率は95．1%であった。既卒生においては、学習とメンタル面のサポートを行い合格率100%であった。	模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施している。生活習慣改善に向けた指導を強化し、自ら体調管理ができ、実力を発揮できるように取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	クラス担任・副担任が窓口になり学科の教員で支援を行っている。メンタルサポートが必要だと判断した学生は、スクールカウンセラーに繋げ、支援する体制を整備している。	担任を中心に個別の学生の面談や相談を行っている。学業不振や登校の状況が気になる学生には早期に対応し、保護者にも協力を依頼している。スクールカウンセラーを設置したことでメンタルサポートの体制も充実できた。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	日本学生支援機構の他、法人の奨学金制度を案内しており、8～9割の学生が奨学金を受けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績不振学生の保護者とも面談を行い、状況を把握した上での学生支援に係る協力を得ている。保護者への説明会や懇談は実施していないが、連絡があった場合は即座に対応し、合意を得られるようにしている。	成績不振者や出席が常でない学生に対し、保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上必要な最低限の教育用具は整備されており、随時購入している。校舎は、40年以上経過しており老朽化がみられるが、学生の学習に影響が出ないよう随時補修し環境改善は行われている。	施設や設備は老朽化しているが改修工事により環境は整備されている。コロナ禍においては必須となるICT機材や教育用具は整備されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	災害発生時の基本方針は定めたが、防災訓練は実施できておらず、帰宅困難時の備蓄も整備されていない。災害時安否確認のシステム構築は連絡網による整備が進められている。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の内容や時期の見直し、災害時安否確認システムの整備、訓練などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校訪問を行い、接続する教育機関に対する情報提供を行っている。例年実施している進路指導教諭対象の説明会及び大阪府の進学相談会への参加は、コロナ禍により行えていない。	高校教諭対象の進学相談会を実施していたが、コロナ禍により中止となった。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を提供している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	感染予防のため、大阪府看護協会主催の進学相談会と学校見学会は実施出来なかった。しかし、オープンキャンパスは感染防止対策を講じて実施できた。また、ホームページには学生の状況など学校生活がイメージできる内容を掲載するようにしている。	感染防止対策を継続しながら、可能な範囲でオープンキャンパスの実施をしていく。また、ホームページの内容の充実を図り、学生募集活動に取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の合否は入学選考基準により適正に審査されている。受験生は大幅な減少はなく、定員は確保できている。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を教員で話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱うようにしている。実習前には実習ガイダンス等で注意喚起を行い、実習での個人情報の取り扱いについては、誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育評価（授業評価・実習評価）を実施することで問題点を明確にしている。教育活動においては、教員の意見を吸い上げ会議に諮るなど、改善策へとつなげるように活動している。	年に1度、自己評価を実施している。問題点の改善については、その都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会医療専門学院　第2看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学案内、ホームページ上で、理念と特長についてを明確にしている。入学後は、早期に教育カリキュラムガイダンスを用いて、説明を行っている。各学年では、クラス目標として、機会毎に理念から関連付けて学生に意識を持たせている。	教育理念・目的・目標は、募集要項やHPに掲載している。入学時に学則や新入生ガイダンス、教育カリキュラム要項等を配布し、時間をかけて説明している。教育活動全般に核となる内容を押さえながら実践していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目的・目標から各学年到達目標を設定しており、有資格者としてさらに専門職業人としての成長が図れるように知識・技術・感性を高め、社会の動向に対応できる応用力が求められることを掲げている。	専門の知識・技術・態度を身につけ、社会に対応できる看護専門職の育成に努めている。就職率は100%ではあるが、卒業後の継続状況についての追跡調査・分析は十分ではないため、母体病院との連携を今後も図っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づき、感性と教養を高め、幅広い人間関係と科学的思考ができるような科目を設定している。アクティブラーニングやシュミレーション教育を導入し学習効果を上げている。各実習前には、マナー教育、看護倫理、医療安全などの教育に力を入れている。	専門の知識・技術を自ら学び続け社会の変化に対応できる看護専門職の育成に努めている。アクティブラーニングやシミュレーションを活用した授業、演習を取り入れ、母体病院の医師や看護師を講師に招き、専門性の高い教育活動を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	通信制教育制度の影響により、2年課程の入学希望者が減少している。自校は、准看護学科併設の特徴を生かして、5年一貫教育を打ち出している。臨床判断力、コミュニケーション力、他職種連携、保健指導力に力を入れ、あらゆる場所で活躍できる看護専門職の育成を目指している。	令和5年より募集停止が決定されている。 准看護師として働きながら学ぶ学生の教育環境やサポート体制を整え、在校生全員を無事卒業させ、社会の変化に対応できる看護専門職の育成を目指す。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人より中長期経営計画が打ち出され、課題と戦略の方向性が掲げられている。それを基に、教育理念に沿った教育方針から学校の運営方針を立てている。年度初めに科長会議に諮られ、その後各科の教員に方針が伝達されて共通理解に繋がっている。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議により、学校運営方針を確認し、看護学科、理学療法士科、診療放射線技師科と協同し、達成に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営方針と教育方針をもとに、各学年担任が年間の学年目標をたてている。前期・後期で目標に沿って進めることができたかの評価を行っている。同時に、個人目標の設定も行い、年度末に評価を行っている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営にあたり、月1回の運営会議を実施している。組織図のもと、教務会、科長会、主任会、その他各種委員会を設置し、科長・主任が中心となり委員会を開催している。学校運営のために、各委員会での役割を遂行すべく、月1回の委員会の中で協議を行っている。	学院運営会議を月１回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議に審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校の組織は、学院長、事務長、教務部長、教務科長、教務主任、専任教員で構成されている。各学年は、担任制をとり、それを補佐する教員を配置している。各学年の運営には、科長、主任が指導・管理にあたっている。実習に関する事項は、主任が実習調整者の役割を担っている。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長と主任を含めた教員7名を配置している。教員の受け持つ各クラスの担任と副担任、また専門領域を明確にしている。未講習の教員がいるため、教育の質向上に向け、整備を進めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラム構成のもと、年次毎の教育内容、実施方針を編成している。専任教員には周知を図ったうえで、学生にも入学時に説明し、周知を行っている。	教育理念などに沿って教育課程を編成している。具体的な内容については教務科長および担任教員から学生に説明し周知を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育カリキュラムガイダンスには、「学年別到達目標」として、教育目標に沿って各学年次の到達目標を明記している。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を掲げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿って、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野Ⅰ」「専門分野Ⅱ」「統合分野」「臨地実習」を構成している。各分野の考え方として、どのような学生を育成したいかを挙げ、科目設定を行っている。各授業科目には、シラバスがあり、始講時に学生に配布、周知している。	教育目的・目標に沿った教育課程を編成している。第2看護学科は令和5年度からカリキュラム改定となっているが、自校は募集停止が決定しているため旧カリキュラムのまま現在社会の変化に対応した教育課程の編成に取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学科の学生は准看護師の資格を有しているため、学生のレディネスに合わせた講義内容になるよう講師と調整を図っている。実習関連施設とも実習調整会議を行い、意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度状況など情報を共有し、助言を頂いている。今後は、卒業生の意見も募り、学生が興味や関心が持て主体的に学べる教育課程編成を目指したい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職業人としての高い知識・技術・感性を身につけ、医療チームの中心となれる看護師の育成を目指している。教育内容は准看護師教育からさらに高度な内容を心がけ、各学年目標においても、教育内容や教科外活動と関連して学びが深まるように設定している。卒後どのように活かされているのかは追跡が必要である。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会人基礎力の修得に向けた教育や専門職業人に必要な自己啓発への動機付けを行っている。母体病院で活躍する認定看護師や看護管理者を講師として招き将来をイメージできる機会を増やす。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に定められた専任教員数は確保できているが、大阪府看護教員養成講習会の未受講教員がいる。	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会を受講予定の教員が1名と現在大学で受講中の教員が1名いる。計画的に教員のスキルアップを推進する。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保する努力を継続して行っている。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各教員は、専門領域の研修に年1回は参加するように、目標として掲げている。個人的に自己研鑽を年間目標に挙げ、講習会への参加やオンラインでの研修などに積極的に参加し、達成に向けて努力をしている。年4回の教務会の中では、伝達講習や資質向上のための勉強会等、取り組みを行って	コロナ禍により対面型の外部研修は自粛となり、オンラインでの研修や学会に限定された。状況に合わせて施設内での勉強会や伝達講習会などを開催し、教員の質向上を図る。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	外部講師、学内教員ともに、授業評価を全科目行っている。自分の目標とする評価点であるのか、また評価結果の分析を行い、改善することで講義に反映していけるように努力をしている。	学生の授業評価は実施しており、各教員で授業の振り返りを行い、次の授業に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則・成績査定内規により、「単位認定」「学習評価」「追・再試験」「臨地実習評価」等の科目履修許可及び卒業に関する必要事項を定めている。また、留保された科目についても「認定試験」として規定を定めて運用している。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、運営会議で審議している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年で行った行事、学習、実習については、学内で発表や報告会を行っている。クラス内だけではなく、他学年の学生や教員も報告会に参加し、双方に学びや刺激となり、共有ができている。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、コロナ禍においても学習共有の場が狭まることがないよう、学年で企画・実施を工夫しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師免許を取得するにあたり、教育課程の中の各分野で、学習する目的を入学時から学生に説明している。教科外活動や各実習においても、目的・目標があり、その都度何を学んで最終的に各自が目標とする看護師像に近づけるのかを意識させている。	看護師国家試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験対策委員を中心に、年間計画を立て対策を行っている。国家試験対策は1年次から行い、2年次、3年次と段階的に内容を変えて取り組んでいる。学習課題は学生の弱点、得意分野を把握したうえで選択しており学習成果の上がらない学生には個別面談を行い、学習支援を行っている。	国家試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は進学者を除き、100%。准看護師免許を有し、就業先から奨学金を受けている学生が多いため、卒業後は奨学金貸与施設への就職が主である。	就職率はほぼ100%を維持している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より国家試験対策に取り組み計画的に進めてきたが、2021年に1名の不合格者がでたため、合格率が下がった。不合格者の原因と追求を行い、次回の国家試験合格に向けての取り組みを強化する。成績低迷者には個別学習の取り組みを行い、100%を目指す。	模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施している。生活習慣改善に向けた指導を強化し、自ら体調管理ができ、実力を発揮できるように取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年とも5月に個別面談を行っている。担任より学生の状況報告が科長にあり、学科会議でも報告があるため、学科教員全体で学生の情報共有、サポートができている。学生には入学時に、カウンセリングの相談が行えることを伝えている。	担任を中心に個別の学生の面談や相談を行っている。学業不振や登校の状況が気になる学生には早期に対応している。法人の学生については、職場と連携しながら学習支援を実施している。今後は、保護者との連絡も時期を考慮しながら行うようにしていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	さまざまな奨学金制度の他、市からの給付金や緊急事態宣言に伴う経済的影響を受けている学生に対し、行政の情報を集めながら教務事務が真摯に対応している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生自身が有資格者で生活自立者が多いため、保護者との連絡、連携は少ない。成績や進級に関する連絡・調整の必要性がある場合は、連帯保証人にあたる人物に連絡をとるようにしている。	成績不振者や出席が常でない学生に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教室の環境は40人対応の広さである。空調工事を行って快適な学習環境を確保している。パソコン等の機器類は各クラスに設置しており、視聴覚教材は整っている。オンラインやリモート授業に対応することができる設備を整えられた状況である。	施設や設備は老朽化しているが改修工事により環境は整備されている。コロナ禍においては必須となるICT機材や教育用具は整備されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	災害発生時の基本方針は定めたが、防災訓練は実施できておらず、帰宅困難時の備蓄も整備されていない。災害時安否確認のシステム構築は連絡網による整備が進められている。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校訪問を行い、接続する教育機関に対する情報提供を行っている。例年実施している進路指導教諭対象の説明会及び大阪府の進学相談会への参加は、コロナ禍により行えていない。	高校教諭対象の進学相談会を実施していたが、緊急事態宣言の影響により中止となった。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を掲載している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	コロナ禍で2021年度は、感染防止に気を付けながらオープンキャンパスは行った。現在、本校の准看護学科からの内部進学者は6割である。2022年度で第2看護学科の募集は停止と決定した。	感染予防のためオープンキャンパスを実施出来なかった。准看護学科在学中より教員から進学指導を実施している。2023年度より募集は停止となる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校生徒の高年齢化と、通信制養成校の躍進により、受験生の減少が著しく、定員確保が難しい状況であるため、2023年度より募集停止が決定された。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の合否は入学選考基準により適正に審査されている。2021年は初めて男子学生の受け入れ可能となり、内部生の進学希望も多かった。来年度は募集停止となるのをふまえて、学院として育成したい学生を教員で話し合い選考基準を検討した。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を教員で話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱うようにしている。実習前には実習ガイダンス等で注意喚起を行い、実習での個人情報の取り扱いについては、誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価は、年に1度実施し、問題点の確認を行い改善などの見直しを実施している。	年に1度、自己評価を実施している。問題点の改善については、その都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会医療専門学院　准看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念、教育目標、育成人材像は、新入生ガイダンス、カリキュラムガイダンスに掲載しており、入学後に学生へ説明している。理念は定期的に教員全員で唱和し、意識づけしている。	教育理念・目的・目標は、募集要項やHPに掲載している。入学時に学則や新入生ガイダンス、教育カリキュラム要項等を配布し、時間をかけて説明している。教育活動全般に核となる内容を押さえながら実践していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、生徒への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対象を生活者として幅広く理解し、保健医療福祉チームの一員として准看護師の役割を果たす力を身につけるため、倫理観をもち、専門の知識・技術とコミュニケーション力を身につけた准看護師像を挙げている。	准看護師養成所は減少しているが、家庭や経済的理由により働きながら資格を取得する社会人のためのコースである。本学院は准看護師にとどまらず看護師進学に向けた教育を目指しており、看護の質の向上と看護師の確保に貢献している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションなどアクティブラーニングを取り入れ、学生の主体性や発信力、思考力を養う取り組みを、実習では、臨床指導者と協同し技術指導、個別指導を行い、専門の知識と技術を融合させ、社会に対応できる准看護師の育成に取り組んでいる。	専門的知識・技術を自ら学び続け、社会の変化に対応できる准看護師を目指している。豊かな人間形成のために必要な科目や教科外活動を選定している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムの構築に伴い、病院や施設、在宅などあらゆる場所で働く看護職の育成が必要である。本校は10代から40代の幅広い年代の生徒が入学しており、育児と仕事と学業を両立しながら准看護師を目指す生徒の支援を実施している。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、さまざまな場で活躍できる看護専門職の育成に、さらにコミュニケーション力、多職種連携、実践力を身につけ、人々のニーズに応えられる准看護師の育成を目指している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を月1回開催し、全学生の進捗状況について情報共有している。法人の中長期経営計画をもとに、毎年運営方針が決定し、教務会・学科会議で全教員の周知を図っている。教育理念に沿った教育目標を基に、学校運営方針を定めている。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議により、学校運営方針を確認し、看護学科、理学療法士科、診療放射線技師科と協同し、達成に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年度初めに、学校運営方針を立て、それを基に各学年担任が前期・後期の学年方針を立てている。前期・後期で計画を振り返り、方針の修正を行い年度末には総括を行い評価をしている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	運営会議月1回、教務会年4回程度、科長会月1回、その他各委員会を設置し、会議・委員会での協議の上、活動を実施している。	学院運営会議を月１回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議で審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌・服務規程に則り、学科運営を実施している。学年担任2名、担任の補佐2名、科長1名、実習指導教員2名で運営している。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められている。教員は教務科長を含めた5名を配置している。担任制を実施しているが、さまざまな生活背景をもつ生徒達への個別指導が多く業務が煩雑になるため、実習指導教員などを増員し、担任業務の負担軽減を計画している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	設置主体の法人規程に基づき策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2022年度の新カリキュラムに向けて、現行のカリキュラム内容を見直し、評価に基づいてカリキュラム編成を行った。授業評価に基づき1年目にシラバスを見直し、2年目にカリキュラム全体の見直しを図る	教育理念などに沿って学科で教育課程を編成しており、教務科長および担任教員が学生に明確な実施方針を説明し周知を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また生徒にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年前期では学習方法を身につけ、ワークライフバランスを整えること、後期は他者と協働する姿勢や看護の基礎知識を身につける。2年次は実践を通して技術の習得と専門の知識を定着させ、資格試験合格を目指すことを目標としている。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を掲げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また生徒にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	基礎科目では国語、英語、倫理を設定し、倫理観やコミュニケーション力を身につけ、専門基礎科目では人体の仕組みと働き、疾病の成り立ち、薬理、微生物、保健医療福祉のしくみなど、幅広く対象を理解し、専門科目では基礎的な看護から発達段階別や様々な疾患や病期の看護へ、基礎から応用へと順序だてて知識と実践を学んでいく。	新カリキュラムを機に改めて教育目的・目標に沿った教育課程について検討・編成した。専任教員間で共通認識をもち、一貫性のある継続教育が実践できるように準備を進める。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2022年度の新カリキュラムの編成に向けて、教育課程に関連した研修にも積極的に参加し、看護協会主催の委員会の中で他校と情報共有し意見を求めた。またカリキュラム委員会を設立し、法人関係者参加のもと学科の教員で話し合い検討を重ねた。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度状況など情報を共有し、助言を頂いている。今後は、卒業生の意見も募り、学生が興味や関心が持て主体的に学べる教育課程編成を目指したい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師の業務は、医師・歯科医師・看護師の指示のもと看護業務を行う資格ではあるが、看護過程と事例発表を通して、個々の看護観を養い、看護師への進学を視野に入れながら日々教員は関わっている。	実習期間の中で実践力を積んでいるが、社会からの期待に応えるためには自己教育力を向上させること、准看護師に留まらず進学を目指す重要性について指導している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大阪府専任教員養成講習会の研修を終了し5年、10年、20年以上の教員が配置。次年度講習予定の教員は専門領域で臨床経験が長く、臨床指導者としての経験を生かしながら実習指導にあたっている	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会の未受講教員が1名いる。未受講教員は当学院で教育経験を積みながら、順次受講していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	研修費については毎年確保されており、専門領域の学会や研修など、各々の教員が希望すればいつでも参加できるシステムになっている。今年度は次年度の新カリキュラムの編成に向けて、全教員でリモート研修に参加した。	コロナ禍ではあるが、リモート研修への参加や施設内では勉強会や伝達講習会などを状況に合わせて開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	全科目の終講試験後に、生徒全員を対象した授業評価を実施している。また、各々の教員が講義終了後ごとにリアクションペーパーを活用し、タイムリーに学生の意見を反映しながら授業を展開している	生徒の授業評価は実施しており、各教員で授業の振り返りを行い、次の授業に繋げている。今後は授業参観も取り入れ、客観的評価も取り入れながら、組織で授業研究を図っていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則規程に基づき運営している。出席率を満たした者が学科試験・実習評価を受け、合格基準を満たせば履修許可が得られ、すべての科目を合格した者が卒業できる。年度末には進級判定、卒業判定を行い、学院長及び理事長が最終判定を行う。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、審議している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全生徒及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学習課題や技術試験においては、評価基準を設けて評価を行い、学生に還元している。また、教員間で学生の到達度を共有し、個別指導につなげている。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、コロナ禍においても学習共有の場が縮小しない様に、学年で企画・実施を工夫しており、そこには教員も参加し、成果を把握している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ガイドラインの准看護師養成課程の基準に基づき、科目や時間数を設定しており、授業内容についてもシラバスやガイダンス上で明確にしている。	資格試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする准看護師資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より低学年模試を行い、その結果をふまえて学習の動機付けを行い、知識が定着できるように指導を行っている。2年生では資格試験問題集を活用し、実習とリンクしながら計画的に学習を進めている。模擬テストも3回実施し、個人の学習到達状況を把握している。	資格試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は、進学者を除けば、ほぼ100%となっている。	就職率は100%を維持している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2021年度准看護師資格試験の合格率は100%である。1年生からの学習支援を行い模擬試験や卒業試験を行いながら、学習成果を確認している。	今年度の合格率は100%を維持している。模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、准看護師資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の相談についてはクラス担任が主として行うが、内容によっては教務科長が行う。また相談内容によっては、経験豊かな教員が相談できるような体制をとっている。	担任を中心に生徒の面談や相談を行っている。学業不振や登校の状況が気になる生徒には早期に対応している。今後は、保護者との連絡も時期を考慮しながら行うようにしていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人の修学資金制度を周知徹底し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。大阪府育英会や授業料支援補助金等の申込み事務手続きの支援も行っている。	大阪府育英会の他、法人の修学資金制度を案内しており、9割近い生徒が何らかの奨学金制度を利用している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績低迷な場合や学校生活で問題のある時は、保護者に連絡を取り保護・生徒との三者面談を行う。保護者に学院生活や学習面を理解していただき生徒のサポートを依頼している。	成績不振者や出席が常でない生徒に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全生徒及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	施設の改修や准看護師教育に必要な教材は常に補充し学習環境を整備している。	施設や設備は老朽化しているが改修工事により環境は整備されている。コロナ禍においては必須となるICT機材や教育用具は整備されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	毎年、10月頃に消防訓練を実施し、学生と教員、事務関係者が参加している。また教室や廊下には災害時の対応についてポスター掲示しており、緊急時に備えている。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	新型コロナ感染症の流行時期を避け、高等学校等の訪問を行い、接続する教育機関に対する情報提供を行っている。	高校教諭対象の進学相談会を実施していたが、コロナ禍により中止となった。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を提供している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問や業者主催の進学相談会は、感染防止に努めながら参加ししている。また、昨年はコロナの影響でオープンキャンパス・学校見学も中止せざるを得なかったが、今年度は人数制限を行い、安全に実施することができた。	感染防止対策を継続しながら、可能な範囲でオープンキャンパスの実施をしていく。また、ホームページの内容の充実を図り、学生募集活動に取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の合否は入学選考基準により適正に審査されている。どのような生徒を育てたいかなどを話し合い、選考基準に沿って選考している。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい生徒像を教員で話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の個人情報保護として、成績の結果発表については十分に配慮を行っている。実習における患者情報の扱いについては生徒に説明し、理解を得ている。	生徒や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検と自己評価は行っている。問題点については、随時改善していくように取り組んでいく。	自己評価と自己点検を実施している。問題点の改善については、その都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院　理学療法士科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念および教育目標を定め、学内掲示スペースに表示している。	1年次の早期の授業科目にて「人材像」を伝え、3年次の臨床実習前にも伝えている。 課題として、到達できたかの評価し、教育内容への反映させることと考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	新人教育担当者の指導のもとで、基本的な理学療法を実施できるというニーズには応えている。指定規則改訂後の地域理学療法ほかの各分野に準拠し、カリキュラム変更をしている。	理念等で方向性は示せているが、シームレスな卒前・卒後教育システムを構築していくための、具体的なEPAの設定が課題と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人内施設と連携した臨床実習教育など、他の養成校にはない特色ある教育活動に取り組んでいる。学生の自主的な行動を促し、積極的な意見交換や他者への思いやりを育んでいる。	少人数教育、法人内施設を利用した臨床教育、臨床現場のPTに協力いただいた臨床実習前後の評価など、特色ある職業人育成に取り組めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	育成すべき人材と入学学生の状況を比較し、育成に必要な学習内容を変化させている。多様化する理学療法の専門分野において、スポーツ分野や地域理学療法分野など、教育内容を拡大させている。	教育内容の拡大は図れている。そのため、履修はできているが、修得できたか否かの評価が課題。そのためのEPAの作成が課題と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。放射線技師科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランを定め、共有している。	2020年度に引き続き、「ありたい姿」を目指し取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランを定め、共有している。	2020年度に引き続き、「ありたい姿」を目指し取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を開催し、月に一度、全学科全学年の状況を共有している。法人からの指示や方針を伝達し、調整している。	各科の役職や役割間での連携強化に努めていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を開催し、学院運営会議からの指示および実務の調整を行っている。また、学年担任制で教員を配置し、各学年に担任、副担任の2名を配置する体制をとっている。次年度準備体制で、職員2名減少に対しての対策は不十分である。	教務会を開催し、現状の共有、課題への審議を行いながら進めている。職員2名減に対する対応が不十分である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより、各年次の教育内容、実施方針を定めている。科目間での共有化や相互での分担は、不十分で調整の必要がある。	各科目間の連続性においては、課題はあるが、ほぼ適切に運用できている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則細則により、各年次の科目履修規定を設けており、単位修得について評価点の基準を設けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	関連病院だけでなく多くの病院での臨床実習や介護老人保健施設での実習を通して、保健・医療サービス、社会のニーズを学び、その中で必要な臨床問題解決能力が身につくよう編成している。	授業科目だけでなく、教科外活動やホームルームなどを積極的に取り入れ、教育目標を目指している。反面、教科外活動が多くなる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の評価認定審査を受け、自己点検評価報告書を受領している。	教員の質の一面として、修士以上の者が1名しかいない。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家資格の修得、専門職としての自己研鑽、という観点で学習を促しているが、実社会での専門性や研究などのキャリア教育の結果は、著しい成果には繋がっていない。	学ぶ意欲を高めるために早期から実習を取り入れ、職業人としての自分の進路を決定できるように、サポートしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理学療法士養成施設指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。次年度体制の準備で、教員1名減少に対しての対策は不十分である。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員研修規定において、職務遂行に必要な知識技能の修得および向上を目指すよう、取り組んでいる。しかし、学会参加や発表の機会はほとんどなく、日々の業務に追われているのが実情である。	外来診療での臨床業務、PT協会主催の研修会や学会への参加している。今後は、学会での発表、論文執筆、研修会での講師なども行ってもらいたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員について、担当科目終講後に学生全員を対象として、講義アンケートを実施している。アンケート内容と集計結果について、解析に検討が必要な部分がある。	授業評価アンケートを実施し、各教員へフィードバックしている。その結果を授業改善に取り組んでもらっているので、継続してもらいたい。また、各学年の特色（個性）に応じて、教示方法の変更なども行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績において、単位修得基準や各種試験での合格点、履修条件を定め、入学時および各学年開始時にオリエンテーションを行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業において課題を提示しグループワークをさせ、発表する授業を設けている。また、実習終了後には、個々で振り返りをさせることで、課題を明確にさせている。それらを発表させ、在校生、教員は聴講し、成果の確認を行っている。	グループワークを行い、発表する形式の授業が増えてきている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職の養成、人間形成という観点で、常々学生に明示し、免許取得と実務のできる人材育成を公然の目標としている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする理学療法士国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験合格を目標におき、講義科目を3科目設定し、国家試験対策教員を配置した上で、継続的に学生指導にあたっている。ここ20年以上、合格率は全国平均をはるかに上回り、トップクラスである。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理学療法士国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%であり、各施設からの求人票受け入れており、翌年に新年度用の求人票ひな型を送付している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より国家資格取得を掲げ、職業意識を高めている。卒業時には、クラス全員が一丸となり、国家試験合格を目指して、受験に臨んでいる。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、理学療法士国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ハード面で、相談室の設置などは充実していないが、少人数制教育を活かし、常に学生に目を配り、相談しやすい環境を提供している。	個人面談等を積極的に取り入れている。内容によっては保護者も交え、面談も行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。また、都道府県の支援システム、個別の医療施設からの支援システムを紹介している。	まれに病院からの奨学金の案内があるので、その都度学生にアナウンスを行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の行動や学業で大きな問題や、処分の対象になる前に連絡し、自宅での様子や学習状況を確認している。状況により、再度連絡、保護者面談を実施している。	成績不良者の保護者には早めに連絡を取り、必要であれば面談を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	養成施設指定規則に準じて整備し、実使用で不足する物品は、学生の使用に耐えうる数量を用意している。 反面、施設、設備の老朽化が進んでおり、点検、修理の未定な修理不能物品も増加している。	指定規則にあげられている物品やその数は揃っているが、修理不能のものが多くなっているが、対応が滞っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたが防災訓練を実施していない。また、施設の耐震安全性の対応は、不十分であり、災害における帰宅困難時の備蓄は、できていない。	防災訓練の実施も必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	コロナ感染症が蔓延してからは高等学校等へ訪問に制限があるが、依頼があれば高校ガイダンスや相談会への参加準備はできている。	当科の教員も参加している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	オープンキャンパスでは、コロナウイルス感染症に伴い、密を避けるべく年間3回の開催を12回に増やし、内容についても毎年更新している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大学等養成施設の飽和状態という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の合否は、入学選考基準により適正に審査されている。AO入試導入後、入学生レベルから、より効果的な課題内容や選考基準の検討が必要である。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は、設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の個人情報保護として、学生間でのSNS利用方針など注意喚起している。また、臨床実習における患者個人情報については、実習施設に依頼し、持ち出し管理を行っている。	臨床実習においても、書類の整理を行い運用できている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検評価により確認している。問題点に関しては、随時改善するように取り組んでいる。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院　放射線技師科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念/特長としてホームページ上にも掲載しており、理念に基づいての人材育成を行っている。また、目的は学生便覧に記載している。	本学院の理念は、母体である法人と共有するもので、学院創立の源である。これを元に目的を定め、日々の教育の中に生かしていくことが求められると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生便覧に「専門知識及び技術を習得し応用能力を養い人間形成に努め優秀な医療技術者を育成」と記しており、感性豊かな人材と医療・福祉に貢献出来る人材育成を重視している。	専門的知識と技術が習得出来るように、臨床現場で活躍中の講師や母体である病院を活用して、学習者自身の主体的な意欲や探究心を高められる様な取り組みが必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	豊かな人間形成を目的に、心理学、臨床心理学、倫理学（生命倫理学）を科目立てしている。また、同グループの看護学科と理学療法士科から講師を迎え、基礎看護介護学や機能解剖学等の特色ある学びの場を設けている。	同じ医療職である他職種学科の学びを知る機会を設けることで、様々な視点や考え方を学ぶ場を提供しているが、狙い通りに学生に伝わることが出来ているか振り返りの機会も必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	4年制大学の新設校が増加傾向にあるが、本学院1部では3年で免許取得が可能であるという点と、2部は夜間コースのため働きながら免許取得を目指す事が出来るという点で、大学とは別のニーズがあると考えている。	大学卒業者や社会人経験者がより学びやすい環境を整えること。また、臨床実習以外にも母体の清恵会病院を学びの場としてもっと活用していく必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。理学療法士科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念をベースに、1年間、更には5年間の目標を定め取り組んでいる。学院全体となる学院運営会議を月1回開催し報告と確認を行っている。	5年後までの定量目標や具体的な指標を決めて取り組むも、具体的な数値を交えて、放射線技師科における教務会議の場でも確認する必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	5年後までの目標値をベースに、各科が評価指標を定め、更に個々の教員の目標にまで反映させ取り組んでいる。	放射線技師科の年間目標をベースに、各学年担当者がクラスの特徴も踏まえて取り組んでいる。しかしながら、未達の目標へ更に踏み込んだ取り組みも求められる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各科教務部長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院運営会議の下に、放射線技師科における教務会議を設け、月1回開催し、情報共有や報告を行っている。今後も、このペースで継続していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長、事務長、教務副科長、主任、担任、副担人、教務事務で構成している。また、進路担当、臨床実習担当を配置している。	教員の組織体制は整っているが、経験年数の少ない教員や、昼間部と夜間部の連携等、サポート体制の更なる充実を図る必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については、設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	学院人事は、法人人事とも深く関連するが、専門学校の指定規則に則って配置されている。個々の能力向上を図りながら3年後5年後の先を見据えて昇任・昇格を行っていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程の編成は、学生便覧に明記している。教育理念に沿った具体的な取り組みにおいては、教務で理念を共有しながら取り組んでいる。	実施方針は、教務会議の場で確認しているが、実際に教育に反映されているのか具体的な確認作業が必要であると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	放射線技師科の目標をベースに、各学年担任が目標とその指標を定め取り組んでいる。	前期・後期で各担任によるクラス状況の報告と、指標と達成度の見込の確認を、主任と教務副課長による面談を通じて行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に従って基礎分野、専門基礎分野、専門分野で構成されており、その中に当学院独自の科目も組み込んでいる。また教科外活動という時間を設けて座学以外の勉学の場も設けている。	ここ数年、必要に応じてカリキュラムの一部変更等も行い対応してきた。2022年度の指定規則変更によるカリキュラムの改訂も行ったが、更なる特色ある科目立てを考える必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。国家試験科目においては、学院の要望と外部講師の意見も反映して行っている。	専門科目においては、常に最新の情報が講義に反映されるように、今後も工夫を凝らしていく必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学年次におこなっている学院卒業生による教育講演、実習前の接遇教育、学会参加等の機会を設けて対応している。	必ずしも十分とは言えないため、母体の病院を活用して、病院見学や入門実習的な機会を増やす事も考える必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師学校養成所指定規則に定められている要項を満たした専任教員を確保している。	本学院の専任教員は、規定以上の臨床経験を全員が有している。専門以外の講師も文科省の定める条件を満たしている。必要に応じて、規定数以上の教員配置も今後考える必要があるのではないか。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員は様々な研修会、学会等に積極的に参加しており、関連資格の取得も含めて資質向上に取り組んでいる。	担当科目の専門性を高め、講義に反映できる取り組みを行っているが、勤務態勢を見直して更なる柔軟な体制作りも今後必要と思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。しかし、取り組みを行っているのだが、研修会や学会に参加しない教員がいることが課題である。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員の講義では、リアクションペーパーでの授業の感想を元に授業内容の見直しを行っていたが現在は中断している。また、外部講師の講義内容は科目によっては一任している。	今後は専任教員、外部講師共に授業評価がおこなえる方向に向けて進めていきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会議を行う等、授業評価を実施していないわけではないが、リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則に基づき、定められた授業科目履修規定により、筆記試験、レポート提出等により、基準を満たし者について単位認定を行っている。	前期終了時と学年終了時に成績を送付している。また不合格科目の多い学生には再試験前に指導を心がけている。今後は、不合格にさせない為の取り組み方も考えていかなければならないと考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	臨床実習前に、班ごとに勉強した成果をクラスメイト、専任教員、また臨床実習施設指導者を交えた中でスライド発表として行い、採点を行う等の取り組みを行っている。	今後は、可能であれば下級生等の参加も考えてみる必要があるが、多人数の入る教室等がなく今後の課題といえる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院での最終目標は、診療放射線技師免許の取得であり、国家試験を意識した授業内容を行うよう取り組んでいる。	1年次から最終学年次まで1科目も無駄な科目など無いと言うことを認識させ、積み重ねの大切さを理解させるような術の検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする診療放射線技師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	最終学年では、毎月国家試験模擬試験を実施し、個々の学習到達状況を把握し、国家試験に向けた対策につなげている。既卒者の受け入れも行っている。	国家試験への対策は最終学年からが本格的な指導となるが、昼間部生は前期が臨床実習となるため、現在2年次後半からの対策も必要と考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	本校は就職率100%を維持している。	長年就職率100%を維持し続けているが、大学3年次編入学という進学への指導も積極的に行っていきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2021年度の診療放射線技師国家試験の新卒合格率は85.2%であった。	2022年度は90%以上を目標に、更なる指導を行う必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、実力試験の実施等、診療放射線技師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携を強化し、全教員で取り組んでいただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時や新学年次始めに、必ず担任が面談を行いコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りに取り組んでいる。特に相談件数の多い就職の相談においては、放射線技師免許保持の教員全員が対応可能である。	放射線技師科は昼間部と夜間部があることから相談時間が限られる場合もあり、全教員が必要に応じて相談に応じれる体制が必要で、情報共有も密に取る必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。夜間部生に対しては、医療現場での仕事の紹介も行っている。	希望者全員に病院（医療現場）での仕事を斡旋出来ないところが課題として上げられる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時の個人面談時に、可能な範囲で家族のことや学校からの連絡先や連絡相手の確認を行っている。成績や学院生活等で必要に応じて連絡を取り合っている。	特に今まで大きな問題は生じていないが、国家試験に対する自宅学習時の指導等、密な連携を要する学生もおり、対策を図る必要も今後生ずると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師学校養成所指定規則で定められている教育上必要な機械器具、標本及び模型を整備している。	開校当初に揃えた用具や機器は古くなったものも多く、今後は用具や機器の更新の必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されているが、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、情報提供も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大阪府内養成校（大学）2校の増設という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。その中でも特に2部（夜間部）の定員確保は非常に困難な状況であり、将来的に2部（夜間部）をどの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の合否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は減少傾向にあり、特に2部（夜間部）の減少が著しい。	2部（夜間部）におけるAO入試を、社会人向けにわかりやすく広める必要性があるのではないか。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時に学生便覧に基づき、SNS規定等しっかりとオリエンテーションを行っている。また、臨床実習前にはガイドブックを用いたオリエンテーションと同意書の提出を求めている。	学院内における情報の取扱、臨床実習時の患者情報の取扱、電子記憶媒体の取扱など、事あるごとに必ず全員に伝わるようにする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員個々が年間計画を立てて4月、10月、年度末に自己評価と教務部長、教務主任と面談を行っている。	個々の問題点を教務の問題点として、教職員全体で共有し改善に役立てる必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。